

令和6年度 事業計画

I 基本方針

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは「人生100年時代」を見据え、地域の高齢者が長年培ってきた知識や経験を生かし、就業を通じて地域社会に貢献し、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現するための重要な役割を担っています。

しかし、年金支給年齢の繰下げや企業の雇用確保の対応が70歳まで延長された影響は大きく会員の確保と高齢化が問題となっております。これからは、会員の健康と安全に配慮した働き方を模索し、退会会員の抑制や多様な就業機会の確保など引き続き会員拡大に取り組んでまいります。

また、安全就業のため、「安全はすべてに優先する」を合言葉に、事故ゼロを目指して、安全パトロールなど安全対策を強化し、安全や健康についての意識の高揚を図り、事故の未然防止に努めていきます。

近年、インボイス制度の開始やフリーランス新法の施行、それに伴う請負・委任の契約方法の見直し等シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化をしています。情報収集を行い、適切な対応が出来るよう努めてまいります。

今後もシルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の下、地域社会に貢献するシルバー人材センターを目指して努力してまいります。

【重点項目】

- 1 会員拡大と会員資質の向上
- 2 就業機会の確保・拡大
- 3 安全・適正就業の推進

会員の拡大、就業機会の確保、派遣事業の拡大

会員数 450名

就業延人数 33,900人

契約金額(請負) 220,000千円

契約金額(派遣) 29,000千円

(シルバー事業推進第3次中期計画に掲げた数値目標)

II 事業計画

1. 会員の拡大

(1) 新入会員の入会促進

ホームページや市報、会員さんの勧誘等で入会促進を行い、女性会員を増やすため、女性にふさわしい軽・短作業の開拓に努めます。

(2) 入会説明会の充実

毎月第2第4水曜日に入会説明会を開催していますが、必要に応じて、臨時の説明会も行っています。

(3) 退会会員の抑制

未就業の会員へ電話などで就業相談を行います。

2. 就業機会の拡大

(1) 就業開拓

市内事業所へ出向き、新たな就業機会の開拓に取り組みます。

(2) 独自事業の検討

採算性のある独自事業を検討します。

3. 安全就業の推進

(1) 安全就業の啓発

安全就業への注意喚起や安全就業だよりを発行し、安全就業の推進及び事故防止対策に努めます。

安全就業に対する意識の高揚と安全対策の徹底を図るため、講習会を実施し、安全就業への取り組みを強化します。

(2) 事故防止

就業現場への安全パトロールを実施します。

事故が発生した場合、その原因究明に努め、対策を検討し、事故防止対策に努めてまいります。

また、就業中の熱中症を防ぐため、適度な休息、水分・塩分補給の励行を呼び掛けていきます。

(3) 健康管理

自分自身で健康を管理することが基本であり、日常における意識の啓発に努めます。

4. 適正就業の推進

(1) 就業機会の公平化

本人の希望を重視し、会員の能力や体調・特性等を加味し、適材適所に配置します。

ローテーション就業の徹底に努め、会員及び発注者の理解を求め、就業機会の公平化と就業率の向上を図ります。

(2) 就業形態の適正化

適正な請負・委任・派遣による就業を進めていきます。

5. 事業運営基盤の強化

(1) 業務体制・組織の活性化

センター運営の要である理事会や役員で構成される総務・安全・広報の三つの委員会の活性化を図ります。

(2) 財政基盤の確立

自主財源確保のために、就業機会を拡大し契約金額の増額や事務的経費・管理経費の削減に努めます。

(3) 事務局職員のスキルアップ

職員のスキルアップを図るため、各種研修会等に積極的に参加します。

(4) デジタル化の推進

業務の効率化やホームページの充実を図るため、デジタル化を推進します

(5) 制度改正等への対応

インボイス制度やフリーランス新法、またシルバー事業（請負・委任）における新しい契約方法への見直しなど変化していくシルバー事業に対応できるよう情報収集を行い、対応を検討します。

6. 普及・啓発活動の推進

ホームページの見直しを行い、シルバー事業の情報提供を行います。竹田市と豊後大野市のイベントに参加して、市民への広報や会員募集を行います。